

哲 学

教 授 田 辺 正 英

◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪と悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
(K. バルトやR. ニーバー等の思想を通して)
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題

以上の4項目は第3輯(研究活動一覧1979)に述べたことと大体同じであるが、4)の項目の最近の研究内容をレジュメの形式で述べると次の如くである。

哲学における往相と還相について

往相と還相は本来仏教における證悟を中心とした重要な概念である。とくに浄土真宗に限って言えば、往相は凡夫が浄土へ生れ往く相のことであり、還相はひとたび浄土に往生したものが、またこの世界へたち還って他の衆生を済度することをいう。ここでは親鸞の往相、還相の二廻向がすべて阿弥陀如来の他力廻向として考えられている点をふまえて、田辺元博士の『懺悔道としての哲学』の中で、その概念が絶対無との関係で如何に変容し、拡大解釈されているかを、現代哲学の問題として批判検討する。

◆ 原 著

- 1) 田辺正英：絶対無と出会い，富山医科薬科大学一般教育研究紀要 第2号 p. 1-6, 1980.
- 2) 田辺正英：哲学における往相と還相について宗教研究(日本宗教学会編) 第54巻 第3輯, 246号, 1980.

◆ 学会報告

- 1) 田辺正英：哲学における往相と還相について，日本宗教学会学術大会(第39回)1980.10月21日東京，国立教育会館。

歴 史 学

助 教 授 小 沢 浩

◆ 研究概要

「研究活動一覧」第一輯に記載した研究課題に継続して取り組んでいるが、「富山県史」編纂への協力(大正元年より昭和20年までの県内の宗教史・思想史関係の執筆)に伴ない、新たに、近代の郷土史関係の研究が、課題の一つに加わった。

◆ 原 著

- 1) 金光教——民衆宗教における内発的「近代」の系譜，日本の民俗宗教 第5巻：174-188，弘文堂，1980.

- 2) 書評 安丸良夫「神々の明治維新」，歴史学研究 No488：27-33，1980.

◆ 学会報告

- 1) 明治21年富山県農事調査について，北陸歴史科学研究会例会，1980. 7，金沢.
- 2) ヤンサマチ考——水戸藩の宗教統制と民衆：民衆思想研究会，1980. 12，東京.

法 学

助 教 授 阿 原 稔

◆ 研究概要

昨年に引き続き、(イ)「医療保障」論と(ロ)「医事法(制)」について、研究を行っている。前者は、社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものである。また、後者は、独自の法領域としての「医療法(制)」の体系化を意図するものである。

心 理 学

助 教 授 中 瀬 惇

◆ 研究概要

前回迄と同じであるが、K式検査は「新版K式発達検査」と名前を改め、検査用具と実施手引書を8月に公刊した。

◆ 著書等

- 1) 嶋津峯真，生澤雅夫，中瀬 惇著：「新版K式発達検査実施手引書」京都国際社会福祉センター，京都. 1980.
- 2) 嶋津峯真，生澤雅夫，中瀬 惇監修：「新版K式発達検査用具，京都国際社会福祉センター，京都. 1980.

数 学

教 授 須 藤 修 作
助 教 授 白 井 進

◆ 原 著

- 1) 白井 進，古田孝臣(金沢大理)：代数体の中心的拡大について，第25回代数学シンポジウム報告集「群論および代数的整数論」，36-54頁。